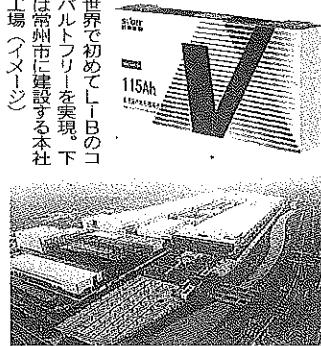


S VOLT 生産 25年120ギガワット時

歐米にも工場計画

中国的蜂巢能源科技有限公司(SVOLT)は、2025年をめどにグローバルでLiB(リチウムイオン二次電池)で年産120ギガワット時体制を構築する。長城汽車股份有限公司からのビニアードした新興電池メーカーで、すでにPSAグループと供給契約を締結。21年後半には江蘇省常州で10ギガワットのプラントを立ち上げる計画。世界初のコバルトフリー電池を開発するなど技術の面でも注目されている。このほど日本に事務所を開設、企業との協業や大学との共同研究に力を入れる。



日本事務所も

SVOLTの前身は長城汽車の動力電池事業部で、12年から電池の研究開発に着手し、16年に電池事業部を設立した。18年にSVOLTとして独立、本社を江蘇省常州に開き、従業員数は2700人を超える。研究開発者は1400人と過半を占める。次世代電池材料からセルモジュール、パッケージ管理システム、

太陽光発電まで幅広い領域に取り組んでいる。電池をホール状に巻く巻型に比べ角部の余分な空間を減らせる褶型の製造プロセスを採用し、エネルギー密度を5%向上し、高速生産を実現。さらに、形状と膜張を

抑止寸法安定性を高め、安全性とサイクル寿命を大幅に向上している。中国国内外の複数の自動車製造プロセスと共同開発が進行中で、中国内では長城汽車と電池モジュール・パックの最適化を取り組んでおり、21年にはE

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

年後半には常州で年産10ギガワットの最初の工場が量産を開始する予定。さらに25年までに総額260億元(400億円)を投じて欧州と米国とも各地に拠点を立てる計画だ。SVOLTはNMXのほかハイニッケルの3

ワンボタンで画面共有

パナがワイヤレスプレゼン

パナソニックはワイヤレスプレゼンテーションシステム「Presso」(プレッソ)を10月上旬に市場投入する。

ソニーはスマートフォンの手元画面をワンボタンで簡単にディスプレイ共有。使用シーンに最適。

ソニーは、ドローンやロボットなどの映像表示機器と

接続することで、映像表示機器と

接続することで、映像表示機器と